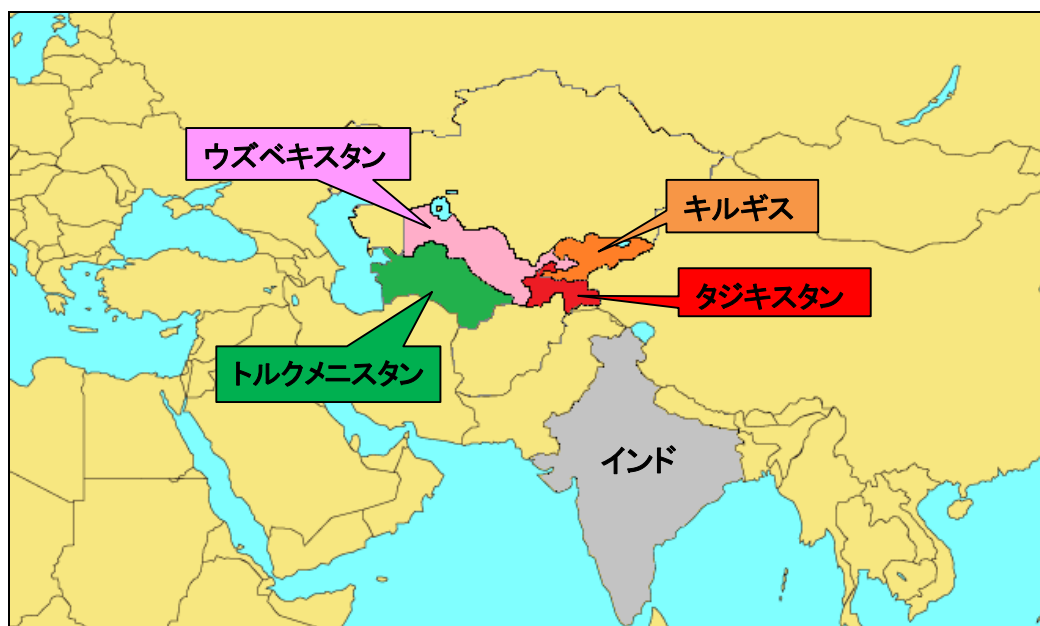


タジキスタンでポリオが流行(更新 2)

2010年7月24日 ProMED 情報(WHO Global Alert and Response)



7月23日にタジキスタン保健省は、1月1日から野生株ポリオウイルス1型の侵入により、ポリオ患者430名(そのうち死亡患者19名)が発生したと報告をしました。また、このウイルス株とウイルス学的関連性を有するポリオ患者7名がロシア連邦で見つかりました。今回の流行をおこしたポリオウイルスの起源は北インドです。タジキスタンの今回の流行は2002年にWHOヨーロッパ地域がポリオフリーと承認されてから、最初の流行です。

今回の流行への対策として経口ポリオワクチンを使用した全国一斉予防接種(NIDs)が4回タジキスタンで行われました。最近では6月15～19日(ドゥシャンベ Dushanbe と6つの周辺地域は6月13日に開始)に実施されました。予備調査では同国全体の接種率は99.3%ですが、0～6歳と7～15歳の子供では97%以上の接種率と報告されています。

最後のポリオ患者発生は6月12日ですし、WHOに報告された新たな急性弛緩性麻痺(AFP)患者数は急激に減少しました。しかしながら、最近のAFP患者についてのデータは、国際的拡大へと進行するリスクがあるというWHOの評価を変更するだけの十分なウイルス学的データではありません。近隣国は、必要な補足的ワクチン接種を行うとともに子供の免疫状態の調査を行いながら流行監視を強化しています。ウズベキスタンは5月と6月、タジキスタンの全国的な補足的予防接種活動と時をあわせて、同種の予防接種活動を実施しました。トルクメニスタンとキルギスタンも予防接種を開始しました。

ポリオ発生地域を出入国する旅行者はポリオに対する予防接種を確実にこなしておく必要があります。